

前回のご指摘事項への回答

平成28年9月29日

大阪ガス株式会社

【指摘事項 2 へのご回答】

- 1 特命発注との連動による競争発注での
コストダウン率拡大の仕組み … P.3
- 【参考】 当社委託労務単価と公共工事設計労務単価との比較 … P.4
- 2 競争発注と特命発注を連動させることによる効果 … P.5
- 【参考】 競争発注拡大への取り組み … P.6
- 【参考】 特命発注工事を行う理由 … P.7

1. 特命発注との連動による競争発注でのコストダウン率拡大の仕組み

指摘事項2へのご回答

- 競争発注の受注実績等に応じて、シェア発注における発注量が決まる仕組みとしています。
- シェア発注工事で適用する標準単価等は、市況価格より低い水準ですが、予め受注する工事量が把握でき、施工班の稼働を確保できるため、受注インセンティブが働く仕組みとなっています。

導管工事発注の概要

発注方式	対象工事金額	工事単価	年間発注割合	委託先の受注メリット
競争発注	1,000万円以上	入札による 低い	17%	● 受注により、シェア発注の受注量拡大が期待できる
シェア発注※1 (特命発注の一種)	500～1,000万円	割引単価A (=標準単価 ×▲4.4%～▲8.9%)	51%	● シェア(年間工事量)が あらかじめ把握できる (失注リスクを抑制すること で、施工班の高稼働を 確保できる)
	200～500万円	割引単価B (=標準単価 ×▲3.8%～▲7.9%)		
	200万円未満	標準単価		
特命発注 (1社発注※2)	—	標準単価	32%	—
(参考)	—	市況単価※3 高い	—	—

※1 委託先が複数存在するが事前にシェアを割り当て、特命発注する方式

※2 委託先が1社しか存在せず、特命発注する方式

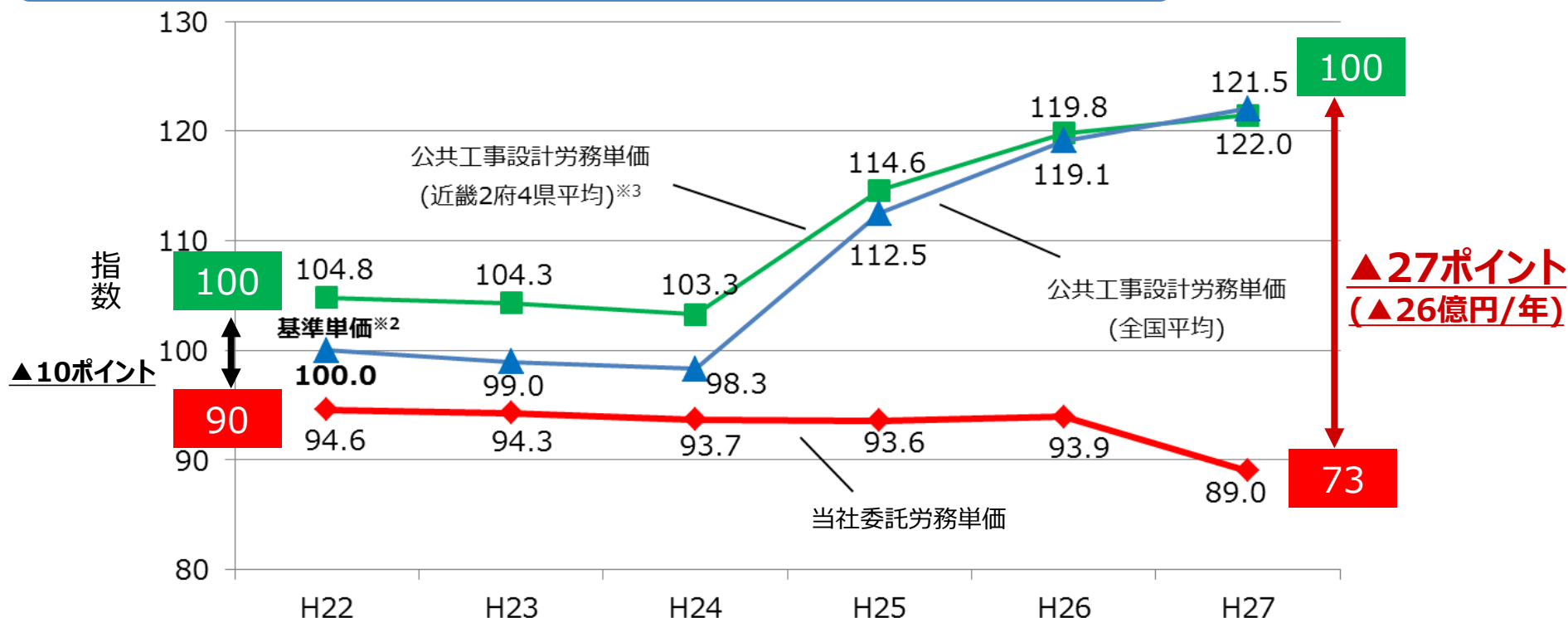
※3 次頁参照

【参考】 当社委託労務単価と公共工事設計労務単価との比較

指摘事項2へのご回答

- 当社の委託工事費のうち、約半分を占める労務費相当部分の水準は、公共工事設計労務単価に比べ約27ポイント（26億円/年）低い水準です。（H27年度時点）
- なお、東日本大震災以降、上昇している公共工事設計労務単価に対して、当社の委託労務単価は抑制していますが、この上昇抑制分は「これまでの効率化」には含めていません。

各年度の当社委託労務単価と公共工事設計労務単価との比較※1



※1 当社において設定している委託労務単価のうち、公共工事設計労務単価と同一職種（12種）の単純平均値と比較

※2 平成22年度の公共工事設計労務単価（全国平均）を基準単価（=100）として、それ以外の単価を指数化（当該単価÷基準単価）

※3 近畿2府4県（大阪、京都、兵庫、奈良、滋賀、和歌山）の各職種の単純平均

2. 競争発注と特命発注を連動させることによる効果

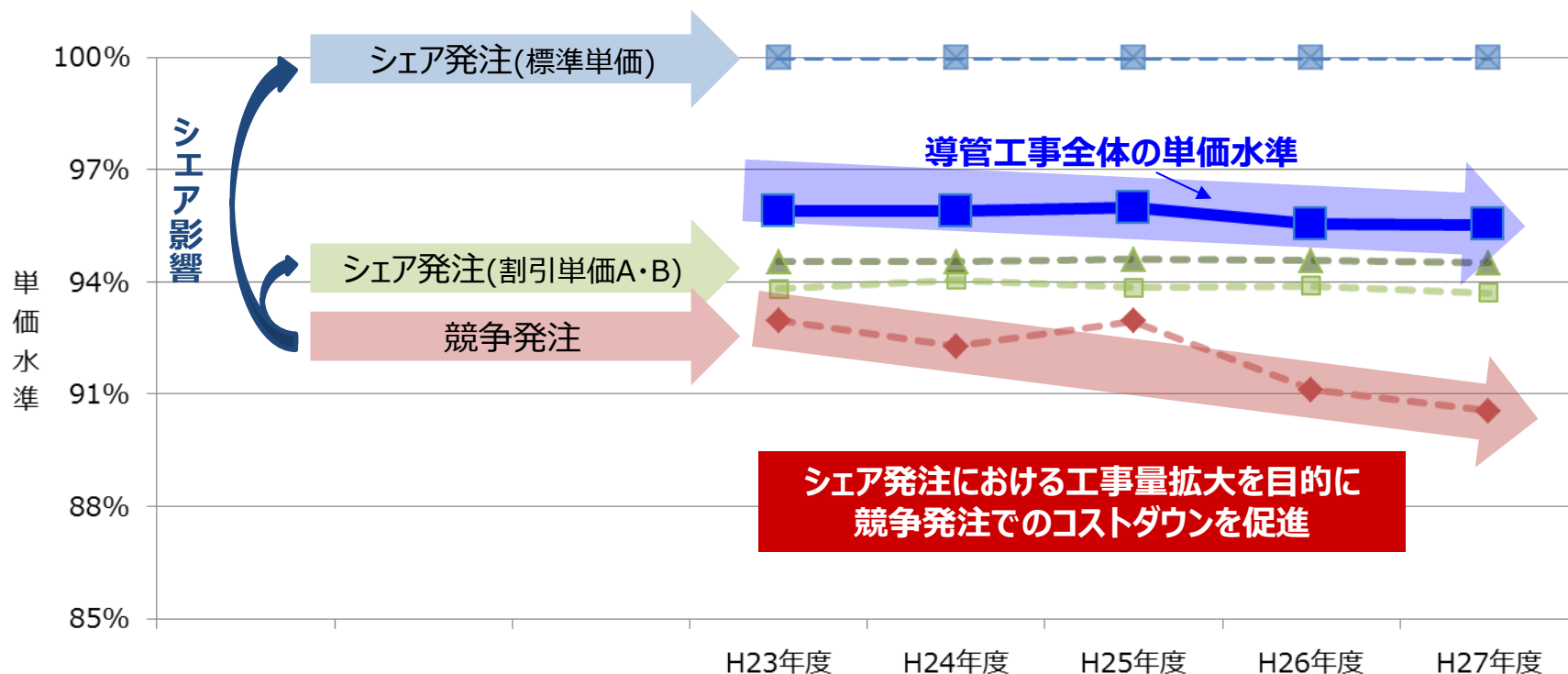
指摘事項2へのご回答

- 競争発注とシェア発注（特命発注の一種）を組み合わせることにより、導管工事全体※1での購買単価の低減に寄与してきました。

※1 競争発注工事及びシェア発注(特命発注の一種)工事の合計

発注区分別 購買単価※2水準の推移

※2 標準単価を100%とした場合



【参考】 競争発注拡大への取り組み

- 今後は、「委託先が複数あるシェア発注(特命発注の一種)業務」を中心に、競争発注比率の拡大を目指してまいります。
- 具体的には、特急工事であっても入札が可能となる簡易入札制度等の導入を検討し、競争発注の拡大に向けて取り組んでまいります。

導管工事における発注区分別の工事内容と今後の取り組み

発注方式	対象業務	主な工事内容	年間発注割合	競争発注移行可能性
競争発注		通常の導管工事	17%	移行済
				高い
シェア発注 (特命発注の一種)	導管敷設工事 (本支管工事) 舗装工事	導管工事のうち基盤整備工事などの特急(短納期)工事	51%	↑
特命発注 (1社発注)	導管敷設工事 (供給管工事)	供給管工事など、本支管工事と一体発注することが効率的な工事	32%	
	漏えい修繕工事	緊急性が高く、高度な技能が必要な業務		
	設備点検・管理	特許・特殊技術・高度な技能が必要な業務		低い

- ガスホルダー、ガバナー（減圧装置）、橋梁管などガス設備固有の技術・技能が必要な設備の点検作業は、発注先が限られていることから、特命発注を実施しています。
- 緊急性が高く、高度な技能が必要な漏えい修繕工事や、お客さまから短納期を要望される導管敷設工事についても、特命発注を実施しています。

設備点検業務

ガス設備固有の技術・技能

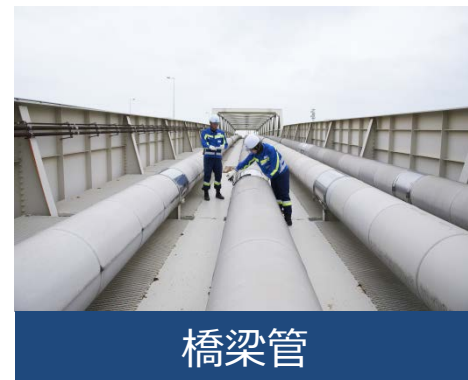
特殊な技術・技能が必要なガスホルダー、ガバナー、橋梁管などの点検業務については、発注先が限定されていることから特命発注を行っています。



ガスホルダー



ガバナー



橋梁管

漏えい修繕工事

緊急性・高度な技能

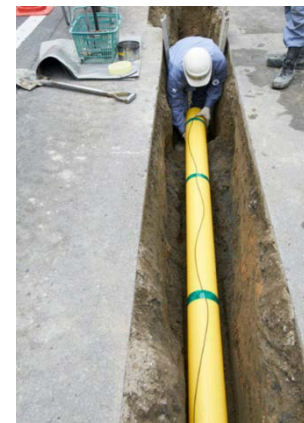
公的資格とともに、現場に応じた修繕工法を選択できる高度な専門性が求められる特殊な業務であり、固定的な業務発注がないと人材育成や技能の維持が図れないことから、特命発注を行っています。



導管敷設工事

短納期

導管敷設工事のなかでも、新規のお客さまからのご要望により、短期間で工事を行いガス供給開始を行わなければならない場合には、特命発注を行っています。



以上